



環境にやさしい太陽光発電

が上昇しているが、本市ではどのように考え、対応するのか。

また、太陽光発電に対して、1キロワット当たり2万円の補助金を出しているが、今後の取り扱いはどうのように考えているのか。

**答** 「福山市地球温暖化対策実行計画」に基づき、13年度から本年度まで、全庁一体となつて電気や燃料、ガスなどの使用量の削減に取り組んでいる。

また、太陽光発電の補助は、12年度から市民の新エネルギーの利用を積極的に支援することにより、地球環境の保全と環境問題について、市民意識の高揚を図るため、補助事業を行ってきたところで、引き続き補助制度を継続していきたい。

**今後の加茂支所のあり方  
(水曜会)**

**問** 加茂地域において協働のまちづくりを推進するには、窓口業務だけでなくクリエイティブ、情報発信基地、地域の人々が集い交流し合える拠点としての整備が求められている。また、支所の外壁の亀裂や天井の雨漏りのしみ跡、クロスのはがれなどを老朽化が目立つ状態になっており、支所機能について、今後どのように考えるのか。

**答** 加茂支所のあり方については、現在進めている地域内分権や協働のまちづくりの視点を踏まえ、全市的に支所体制を見直し、その中で検討していく。なお、公共施設の維持改修は、機能の確保や安全対策などを基本に取り組んでおり、加茂支所についても緊急性の高いものから随時修繕を行い、適正な維持管理と施設の延命化を図っていく。

**スクールサポートボランティア事業  
(公明党)**

**問** これからの学校のあり方を考えるとき、地域、保護者の力をどのように生かすかが重要である。

地域、保護者の力を学校づくりに生かすスクールサポートボランティア事業の拡充をどう考えるか。



ボランティアとお手玉遊びをする子どもたち

**答** 各学校は状況に応じて必要なボランティアを募り、現在約4700人の登録をいただいている。今後の課題は、本事業の趣旨や活動内容、登録方法などの地域の方への周知、また学校とボランティアおよびボランティア同士の情報交換などである。今後も、各学校が必要に応じたさまざまな活動や授業などで、支援していただくボランティアを募るなど、事業の充実に努めていく。

**◆関連質問**

・こども110番、地域ボランティア

ティアなどへの支援策と総合的な安全対策を (市民連合)

**子育て支援  
(公明党)**

**問** 援助を必要とする1歳未満の子どもを持つ家庭への訪問事業である育児支援家庭訪問事業の取り組みについて、今後の課題をどのようにとらえているか。

**答** この事業は、出産からおおむね1年程度までの養育者のいる家庭を対象に、訪問による育児の指導・助言などを行うものである。市民への周知が不十分な面もあり、事業の趣旨をPRしていく必要がある。家庭訪問によって課題が認められた家庭については、出産から1年程度ということに限定せず、継続して保健師などによる訪問指導を行っていく。

**人権推進行政  
(水曜会)**

**問** 12年度には、同和対策関係予算が14億3000万円余り計上されていたが、この5年間の関係予算の推移は。

また、学力向上地域支援事業、地域活動推進事業、奨学金、高齢者手当等扶助費などの制度が残っ